

被験者募集のご案内

[内容に関するお問い合わせ先・書類宛先]

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1

TEL 0422-47-8000(内線 1204)

研究責任者 杏林大学保健学部臨床検査技術学科 芝崎翔平

現在、「生理機能検査学/解析検査学」グループでは、「昼食後の昼寝が腹部の血行動態に及ぼす影響」というテーマについて検討するため、以下の実験について被験者を募集しています。

研究課題名	昼食後の昼寝が腹部の血行動態に及ぼす影響
対象者の概要	対象: 杏林大学保健学部学生(18歳以上)
実験の概要	<p>1) 超音波診断装置: ARIETTA E70 (富士フイルム)を用いて、肝臓への血流として門脈を、腎臓への血流として腎動脈と腎内区域動脈を観察します。</p> <p>2) 昼食前の午前中の検査後、用意した「からあげ」を中心とする昼食を摂っていただきます。</p> <p>3) 昼食後に昼寝をする日と、しない日の各1日ずつ超音波検査を受けていただきます。</p> <p>4) 昼食後→30分後→1時間30分後→2時間30分後→3時間30分後に超音波検査を繰り返します。昼寝をする日には、昼食後から30分後の測定までの間に15分間の昼寝をしていただきます。同時に、上腸間膜動脈と総頸動脈を観察し、食後おなかに行く血液が増加し、反対に脳に行く血液が減少するという、生理的な反応が起きていることを確認します。また、血圧もその都度測定いたします。最終検査は15時頃には終了します。</p> <p>※ 検査は男女ともご協力いただきますが、腹部超音波検査の範囲は上腹部のみです。</p> <p>※ 検査前日21時以降は食事を摂ることを控えていただき、当日の昼まで絶食になります。ただしこの間、水やカロリーのないスポーツドリンクは自由に摂取していただいてかまいません。</p>
実験時間	概ね測定時間は15分程度、1日5回の測定を2日間実施
実施期間	2023年6月5日 ~ 2026年3月31日
謝礼	あり ・ なし
申し込み方法	<p>■メールまたはQRコードによる応募をお願いいたします。</p> <p>① メールアドレス: s.shibasaki@ks.kyorin-u.ac.jp</p> <p>② メール本文へ以下をご記載ください:</p> <p>-----</p> <p>氏名:</p> <p>連絡先(メールアドレス):</p> <p>希望する曜日・時間帯など:</p> <p>-----</p> <p>※メールでのご連絡またはQRコードによる登録をいただきましたら、折り返しこちらからご連絡をいたします。</p>

